

かなり前のことですが、君津駅が橋上駅になった時、通路の両サイドの壁を「ギャラリー」にしようと投書したが取り上げてもらえませんでした。

気がついたら、現在その壁は子供達の絵と書の展示場となっており、私も通るたびに立ち止まって見せてもらっています。

今この橋をはさんで夏は君津市民ふれあい祭りが開かれ、「にぎわい市」「七夕祭り」が催されておりますが、遠来の客を集めリピーターとするまでにはいかない状況です。

そこで、全国へ呼びかけて5月5日の端午の節句ーゴールデンウィークーに橋上両壁を借りて「鯉と鯉のぼりの絵画展」を募集展示する。入賞・入選作者には「君津駅までの往復切符」+「α」を考える。「α」とは「市内観光名所巡り」等を併用したら面白いと思うが駅長さんが果たしてOKを出してくれるか？が課題です。

昨年来「FAX 通信」や機会ある毎に小糸川の桜祭りを、と提案してきたところ、観光協会君津支部からは非その「桜まつり」をやらせてください、との申込みをいただき、実施した結果小糸川の堤防は大群衆で埋まり大成功でした。

後で「なぜ観光協会にやらせた！」とお叱りもありましたが、地域全体の活性化のためなら自主的にやる気がある人、組織なら誰がやられてもいいと私は思います。

この夏、先ず郡ダムの遊歩道が開放されます。これをどう利用するか、郡ダム、三舟山への127号からの「案内板」はどうするか。対岸の火事と思わず挑戦・活用されることを望みます。地元優先とは、地元勢が真っ先に挑戦することではないかと思えます。後手後手にならないためにも思い切った挑戦が必要と言えます。また、資金はあまり無いが、良いアイデア・企画で将来収益が望めるような事業であれば、ミニ株主（1口数万円から）の出資を募り、積極的にPRし、広く資金を集めるような工夫も必要です。ライブドアの堀江さんが良い例を示しております。